

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		9		作成日		30年 6月 25日		
事務事業名		住民活動支援事務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	6 語らいのあるまち						課名	町民課		係名	町民活動係
		6-1 町民参画のまちをつくる						シート作成者				
	施策	6-1-1 協働によるまちづくりの推進						予算費目	会計	一般		
		④ 町民団体、ボランティア等の育成・支援							款	2		
主要施策							項		1			
							目		6			
個別計画名												
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	NPO、市民活動団体				NPO・市民活動団体（ボランティア）の活動支援と新たな協力体制を整え、協働のまちづくりを進めます。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		<p>住民活動支援事務…平成28年6月に「とういん市民活動支援センター」を町総合文化センターの2階のオープンスペースに開設し行政が直接運営するようになりました。市民活動に関する情報、活動状況、課題などを共有し市民活動団体を支援することによって、市民活動団体自らが町運営の一翼を担えるような団体として成長するよう事業を展開しています。</p> <p>世話焼き人事業…平成28、29年度に実施した世話焼き人講座受講者のうち任意で残った方たちと継続的な打ち合わせを行いながら市民活動に繋がるよう支援を行う。</p>										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		(年間)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等												
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0			5,221			7,919				
財源内訳	国庫支出金	0			108			0				
	県支出金	0			0			0				
	地方債	0			0			0				
	その他特定財源	0			63			42				
	一般財源	0			5,050			3,389				
直接事業費（千円）A		0			5,221			3,431				
人件費（千円）B		0			0			4,488				
内訳	一般職員（人・千円）	0.00 人		0		0.00 人		0		0.68 人		4,488
	臨時職員（人・千円）	0.00 人		0		0.00 人		0		2.00 人		0
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	30年度				
					目標	実績	(目標)	(目標)				
	①	住民活動登録団体数		団体	70	69	70	75				
	②	NPO認証法人数		人	7	3	7	8				
③	地域活動やボランティア活動に参加している人の割合		%	44.0	-	46.0	48.0					
説明	③まちづくりアンケート調査未実施のため、実績数値未入力。											

事業名		住民活動支援事務			シート作成課		町民課	
一次評価者		町民課長			二次評価者		生活部長	
評価項目の説明	チェック項目				一次	二次	一次の評価又は説明	
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	多様な社会ニーズに対応するためには町民自らの考えによる自主的な活動ができるよう支援する必要があります。 どういん市民活動支援センターが中心となり登録団体に情報提供等を行い、活動支援を行います。 登録団体代表者会議やスキルアップセミナー、どういんわくわくフェスタ等市民活動団体の活動が行われている。 今後は人と人とのつながり作りに重点を置き、様々な人々が知りあえるよう住民活動を支援することにより、活発な住民活動へと繋がります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
本事務事業の実施適切性の説明 多様な住民ニーズに対応するために行政と住民の協働のまちづくりが必要であり、持続的な取り組みができる団体の育成が重要な課題となっています。今後も「どういん市民活動支援センター」など中間支援を行う組織を中心に協働し住民活動支援を図ります。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	(8) B	(8) A	(7) C
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大
今後の改革・改善目標	市民活動支援センターの円滑な運営と事業の実施を行うことによってセンターの認知度を高め、市民活動の機運を醸成していく。また、関係各課とも連携し、シニア専門人材バンクの立ち上げ、市民活動の領域として、子育て部分の充実を図るなど新たな取組みを行っていく。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	(8) B	(8) A	(7) C
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大
コメント	市民活動支援センターの充実を図る必要があると考えます。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				